

泡消火設備における薬剤の混合使用について—西日本防災システム

PFOS規制に係わる混合

駐車場等の消火設備として広く普及しています。泡消火設備の消火薬剤にPFOS含有の薬剤が広く使用されており、PFOS含有の消火薬剤は化審法(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)により製造、輸入ができなくなりました事は、以前にお伝え致しましたが、PFOS含有の泡消火薬剤を使用している泡消火設備は点検時等の補充が必要な場合にも補充できないこととなりました。泡消火薬剤は検定対象品目であり他の薬剤との混合は技術上の規格に適合しないこととなりますが、点検時にPFOS含有薬剤を廃棄し、新しい規制対象外の薬剤を入れることは防火対象物の関係者の方に多大な経費負担を強いることになると共に、多量の廃棄物を生じさせることとなります。このようなことから今般、消防庁から泡薬剤の**補充(混合)**に関しての取扱いが示されましたので、お伝えいたします。
日本消火装置工業会資料

1 PFOS含有泡消火薬剤との混合使用について

① 全量交換の場合

既設フォームヘッドとの組み合わせに注意し性能評定を取得している泡薬剤に交換してください。フォームヘッド交換の必要が生じる場合もあります。

② 補充(混合)する場合

混合使用ができる泡消火薬剤の種類

- (1) 補充(混合)する泡消火薬剤はPFOS含有泡消火薬剤と任意の割合で混合した場合において、規格省令に規定する基準に適合していることが確認されていることが必要です。
- (2) 補充(混合)する泡消火薬剤は1種類に限定されています。
- (3) 使用するフォームヘッドは、PFOS含有泡消火薬剤及び補充する泡消火薬剤のいずれと組み合わせても所要の性能を有することが確認されていることが必要です。

③ 当初貯蔵していた泡消火薬剤に補充する行為について

- (1) 初回の補充(混合)に限り、「軽微な工事」とみなされ甲種消防設備士(甲-2類)の業務範囲となります。表ア
- (2) 2回目以降の混合は「整備」となり着工届、設置届、消防検査は不要となりますが**必ず所轄消防署にご確認下さい。**

④ 表示について

当初貯蔵していた泡消火薬剤と他の消火薬剤を混合した場合は、その旨を泡消火薬剤貯蔵槽の見やすい箇所に「水成膜泡消火薬剤混合済表示シール」を貼付して表示する必要があります。表示シールは泡消火薬剤メーカーから入手してください。

⑤ 記録について

当初貯蔵していた泡消火薬剤と他の消火薬剤を混合した場合は、必ず点検票に混合した年、月、日、混合した泡消火薬剤の種類及び補充量の記録を残してください。

表ア

届出	要否	内容
着工届	不要	
設置届	要	試験結果報告書に替えて「当初貯蔵されていた消火薬剤」と補充する消火薬剤との適合性を確認した資料を添付する必要があります。
消防検査	省略	消防検査は省略されます。

※届、添付書類は必ず所轄消防署にご確認下さい※



西日本防災システム

NISHIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

泡消火設備における薬剤の混合使用について—西日本防災システム

2

⑥ 混合使用とフォームヘッドの適合性について

泡消火薬剤とフォームヘッドの組合せ適合一覧表

混合使用した場合所要の性能を有すると確認されているフォームヘッド			貯蔵消火薬剤		混合可能な消火薬剤	
社名	薬剤名 型式		DIC	ヤマトプロテック	DIC	ヤマトプロテック
	フォームヘッド		メガフォームF-623	アルファフォーム310	メガフォームF-623T	アルファフォーム310R
	型式	認定番号	泡第1～6号(3%)	泡第10～1号(3%)	泡第17～3号(3%)	泡第19～26号(3%)
能美防災	NHO53A	221T121-1	○		○	
	NHO54(側壁型)	221T157	○		○	
初田製作所	HFH-35T	221T132	○		○	
	HFH-35E	221T141	○		○	
	HFH-20P(側壁型)	221T142	○		○	
	HFH-35S	221T169	○		○	
	HFH-20S(側壁型)	221T170	○		○	
宮田工業	MFH-35-2	221T113	○		○	
	MFH-20	221T166	○		○	
ヤマトプロテック	YLH-35N	221T131		○		○
	YAH-35	221T139		○		○
	YAH-20	221T140		○		○
	YAH-35T	221T158		○		○
千住スプリンクラー	SMF-01	221T148	○		○	
	SMF-20(側壁型)	221T160	○		○	
立売堀製作所	IFH-35E	221T143	○		○	
	IAH-20P(側壁型)	221T144	○		○	
	IAH-20(側壁型)	221T163		○		○
	IAH-35T	221T164		○		○
	ISAH-35	221T167		○		○
	ISAH-20(側壁型)	221T168		○		○

上記適合表は平成23年2月に適合が確認されている組合せを示しています。随時更新予定です。

消火薬剤の混合済表示シール(例)

水成膜泡消火薬剤の混合について

水成膜泡消火薬剤は国家検定品であり混合して使用することは認められていませんが以下の泡消火薬剤に限り当初貯蔵していた泡消火薬剤に混合した場合の性能が確認されております。

補充でき 製造社名 ○○○○株式会社
 る泡消火 商品名 ○○○○○○○○○○
 薬剤 型式番号 泡第□□～□□号
 最初に混合 年 月 日
 した年月日

! 注意 上記以外の泡消火薬剤は補充できません

注意事項

- 1 左記項目を印刷してください
- 2 製造社名は混合する薬剤の製造社名を記入する事
- 3 商品名は補充する薬剤名を記入する事
- 4 型式番号は補充する薬剤の型式番号を記入する事
- 5 混合年月日は作業日を記入する事



西日本防災システム
NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

PFOS含有泡消火薬剤一覧—西日本防災システム

3

水溶性液体用を除くPFOS含有泡消火薬剤

型 式	製造社名	商品名	型名
泡第51-7号	住友スリーエム(株)	ライトウォーターFC-3031	水成膜
泡第53-5号	〃	ライトウォーターFC-3033	〃
泡第60-2号	〃	ライトウォーターFC-3103	〃
泡第60-5号	〃	ライトウォーターFC-3104	〃
泡第8-1号	〃	073ウォーターFC-3073	〃
泡第1-6号	DIC(株)	メガフォームF-623	〃
泡第1-7号	〃	メガフォームF-626	〃
泡第4-4号	〃	メガフォームF-633S	〃
泡第7-1号	〃	メガフォームAGF	合成界面泡
泡第8-2号	〃	メガフォームN-103	水成膜
泡第11-1号	〃	メガフォームAGF-3	合成界面泡
泡第9-3号	深田工業(株)	フカダフロロアルコフォームG	たんぱく泡
泡第10-5号	〃	フカダフロロアルコフォームG	たんぱく泡
泡第10-1号	ヤマトプロテック(株)	アルファーフォーム310	水成膜
泡第11-2号	〃	アルファーフォーム320	〃
泡第11-5号	〃	アルファーフォーム605	〃
泡第15-4号	ヤマトエンジニアリング(株)	CFフォーム310	〃
泡第1-5号	(株)初田製作所	ハツタフォームAF3	〃
泡第63-9号	〃	ハツタフォームAF3	〃

水溶性液体用PFOS含有泡消火薬剤

型 式	製造社名	商品名	型名
未検定	住友スリーエム(株)	ライトウォーターATFC-3035	水溶性液体用薬剤
〃	〃	ライトウォーターATCFC-600	〃
〃	DIC(株)	メガフォームF-610AT	〃
〃	〃	メガフォームAT-3	〃



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>